

市民と野党の共闘を推進し、安倍政権の暴走にストップを！ 日本共産党新潟県委員会が小池書記局長などを迎え演説会



次に打撃を与えるには市民と野党の共闘しかない。これまでに新潟県政をしっかりと監視する役割の一端を果たしていきたいとのべました。

日本共産党の井上哲士参院議員も登壇し、訴えました。井上氏は、核兵器禁止条約に署名する日本政府の実現が「被爆2世として一番の決意。いま南北、米朝首脳会談で平和の激動が大きく広がっている」と力を込めました。

小池氏は新潟県政についても言及。新知事が任期中の柏崎刈羽原発の再稼働容認に言及したとして、「再稼働させないたたかい、世論を上げよう。県議選では共産党躍進と、1、2人区で市民と野党の共闘候補の勝利を」と訴えました。小池氏はまた、「本気の共闘を実現すれば安倍政権打倒に迫れる。知事選ではそれを証明したい」と国会論戦など、あらゆる場面で共産党抜きでは共闘は成り立たない状況となっている。米国言



【セリ】セリ科の多年草。漢字で「芹」と書きます。田んぼなどでおなじみの花。湿地性の植物で草丈は30センチ程度。いま、白い花を咲かせています。吉川区下中城にて撮影。

日本共産党新潟県委員会は14日、小池晃書記局長を迎えた演説会を新潟市の県民会館で開きました。会場となった大ホールは、暴走を続ける安倍政権をストップさせたいという思いの聴衆で、2階席ともいっぱいになりました。

今回の演説会は来年の参院選、統一地方選での日本共産党の躍進をめざし開催されました。

池田氏などが来賓挨拶

来賓挨拶では、6月の県知事選で市民と野党の共闘候補として大健闘した池田千賀子氏が、一口に市民と野党の共闘というが、これは一朝一夕にしてできたわけではない。各種運動の中で顔の見える関係が信頼感を高め、選挙戦で花開いている。安倍一強という状

ひららぎ哲也氏も登壇

いる。何をやってもらっても許される、ウソをついても逃げ切れる、こういう政権は国民のためにならない。これからみなさんとともにたたかう。同じ仲間として声をかけていただきたい」と挨拶しました。

来春の県議選に日本共産党から立候補を予定している渋谷明治県議、ひららぎ哲也前上越市議など4人の予定候補が登壇、新潟西区の武田勝利氏が代表して決意表明しました。

武田氏は「原発再稼働を許さない」は新潟県民の不動の世論となつていく。いま県議会の議席は自公が6割だ。これを変えれば県政の流れは変わる。日本共産党の議席を4人、5人と増やし、県議

豪雨災害で自身が視察した被災地の深刻な状況を語り、救命・救援に全力をあげると表明。避難指示が出ている中で、安倍首相や閣僚、自民党幹部、議員による宴會、カシノ審議優先の姿勢を批判し、「被災者支援にこそ全力を挙げざるべきだ」と述べました。改ざん、隠ぺい、虚偽答弁などの問題にフタをして悪法強行に走る安倍政権に対し、

「真相の徹底究明、責任追及を行い、内閣総辞職に追い込もう」と



高田のYさんからいただいた絵手紙。アジサイが素敵な色合いで描かれています。カラーで印刷できず残念です。

はしづめ法一の活動レポート

No.1867 2018.7.22
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見である記」はこちら


春よ来い

第五一五回 じいちゃんと孫

梅雨が明けたという日、金沢市に住む次男夫婦と孫がやってきました。空は晴れてスカッとしています。近くの林ではリョウウグが白い花をきれいに咲かせていました。

次男夫婦たちがやって来たとき、私は事務所にいました。玄関まで出て、「リョウウくん、はい、だっこ」と声をかけたところ、今回はいやがることなく、そばに来てくれました。だっこしたら、ズシリと来ました。会えなかった数か月の間にずいぶん体重が増えたものです。

部屋の中の真ん中にあるテーブルのそばに近づくと、リョウウくんはすぐに遊び始めました。テーブルの上には観葉植物が置いてあり、それらと一緒に木製のコマやタイヤ風の積木、ブロックなどの玩具がありました。リョウウくんは最初、コマに興味を示し、テーブルの上でまわし始めました。たぶん、ふだんからコマ遊びをやっているのでしょうか、けっこう上手でした。それを見ていたおじいちゃんが発奮、「どうだ」と言わんばかりに、三つのコマを同時に回してみせました。

コマ回しの次はタイヤ落とし。青、赤、黄、緑の直径三センチほどの小さなタイヤを積み上げておいて、横から槌で瞬時にたたいて上部のタイヤを落とす、大人でも難しい遊びです。リョウウくんは何度か挑戦しましたが失敗続きでした。

タイヤ落としがうまくいかなかったリョウくんは最後にいろんな形をつくれるブロックに手を出しました。周りで見ていた大人たちは、「あつ、車かな」「今度は怪獣だあ」などと言って応援しました。

みんなに応援されて、リョウくんはブロック遊びに夢中になっていきます。そして、次々とブロックを積み、形を変えていきました。段々に高くなる形をつくつたと

ころで、リョウくんは「どうだ、階段」と言いました。階段という言葉を知っているのも驚きでしたが、「どうだ」と自信たっぷりに言う態度には驚きましたね。

おもちゃ遊びが一段落したところでリョウ君、今度は動き回って遊び始めました。一番気に入った様子だったのはとび競争です。玄関のところをスタートにして、お母さんがいるところまでの三メートルほどの距離を走る、ただそれだけのことなのですが、面白いところがあるんですよ、ニコニコしながら走り回っていました。

その様子を見ていた私は応援を全開させました。リョウ君が走り始めたら、小刻みに手を激しくたたきながら、「頑張れ、頑張れ、頑張れ」とやる。そうすると、応援の力がストレートにリョウ君に伝わったようです。リョウ君は全力で走り、何度も繰り返しました。リョウ君は疲れたのではと思うでしょう。とんでもありません。疲れたのは応援するおじいちゃんの方でした。

前日、リョウくんは直江津のおばあちゃんなどと一緒に上越市の新水族博物館、「うみがたり」へ行ってきました。水槽の中の魚は、こわかったのか、一足ほど離れて見ていたそうですが、イルカやペンギンはすっかり気に入ったようです。私が「いるか、いないか」と親父ギャグを発したのに対して、すぐに「いた」という答えを返してきました。妻が「コンニャク、食べる？」と聞いたときも、「食べない」とはっきり言いました。ここ数カ月の間にリョウ君の会話の力はぐんとつきました。

九年前に他界した父が生前、口癖のように言っていたことの一つは「孫は自分の子どもよりも一〇倍かわいい」でした。大きな言葉ではありませんでした。今度は孫と外でとび競争をしてみたいものです。

今年の平和展は8月19日まで



さんの資料の一部)、沖縄戦資料が注目されています。

旧小猿屋小学校に眠っていた木製のプロペラは思っていた以上に大きかったです。旧高田市、旧直江津町から軍用機が11機も献納されていたとはびっくりでした。年表を見ていたら、1945年3月4日に旧高田市長が応召され、市長を辞職とあるのを発見、これにも驚きました。

平田真義さんの資料収集は幅広く、平和への大きな貢献です。平和展は8月19日まで。ぜひお出かけください。

高田の小川未明文学館ギャラリーで開催中の平和展を13日、見してきました。今年は軍用機献納運動関連資料、板倉区の浄光寺住職・平田真義さんが全国を回って集められた資料(左の写真は平田

市内各地で戦没者法要

いま、市内各地で戦没者合同法要が行われています。写真は15日の吉川区での法要の様子です。戦後73年となって、遺族の高齢化が進み、どこでも参列者の数が少なくなってきました。戦争のない時代を続けたいものです。



上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

| | 7月11日(水) | 7月18日(水) |
|--------|----------|----------|
| 上越南消防署 | 0.047 | 0.047 |
| 上越北消防署 | 0.047 | 0.043 |
| 新井消防署 | 0.047 | 0.040 |
| 頸北消防署 | 0.050 | 0.047 |
| 頸南消防署 | 0.063 | 0.063 |
| 東頸消防署 | 0.040 | 0.043 |
| 高士分遣所 | 0.043 | 0.047 |
| 名立分遣所 | 0.057 | 0.047 |